

# 第32回白老牛肉まつりの中止について



6月上旬に開催を予定しておりました「第32回白老牛肉まつり」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止といたしました。

まつりの開催を楽しみにされていた皆さまには大変迷惑をおかけいたしますがご理解をよろしくお願いします。

問い合わせ先：白老牛銘柄推進協議会事務局 ☎82-8214



## アライグマやエゾシカなど野生動物による畑被害に注意を



春になり、花壇や花畑、家庭菜園などの手入れをする時期になりました。大切な収穫物を守るために野生動物の食害対策を考えましょう。対策をしないと近場に野生動物が住み着き、被害が拡大します。

### 【対策】

- 家庭菜園で育てた野菜などの取り残しをしないようにしましょう。
- コンポストで生ごみを堆肥化する場合は、生ごみの上に土をかぶせましょう。
- 畑の周囲には柵やネットなどを張りめぐらす対策をしましょう。



### アライグマの特徴

- ・しっぽがシマシマ
- ・5本指の足で歩く
- ・色んなものを食べる

問い合わせ先：生活環境課 環境グループ ☎82-2265



## 町地域おこし協力隊に 高島さん、羽地さん仲間入り 観光振興活動に期待



地域おこし支援や地域協力活動を通しまちの活性化に一役買う地域おこし協力隊。高島勇揮さん(35) = 写真右 = は苫小牧市出身。札幌市でIT関連企業の仕事をしていました。「ヒッチハイクで北海道を巡り歩きましたが、白老は自然のすべてがそろっているところ」と本町に応募。「この白老でこれまでの仕事を生かし、観光や企業のIT化を支援したい」と力強く抱負を話していました。羽地夕夏さん(24) = 写真左 = は沖縄県出身。都内で出版関係企業に勤めていました。「出版は人との関わりの中の事業。文化を広げ観光へ生かしたい」と白老での抱負を話し、「白老には本屋さんがないので、将来的に何かしたいですね」と瞳を輝かせていました。2人は観光振興を担当します。委嘱状を手渡した戸田安彦町長は「若い方が意欲を持って来てくれました。期待しています」と激励しました。協力隊は2人を含め計6人になりました。(5月9日)

「自然と暮らしを楽しむ」をテーマに、地域おこし協力隊の安田さんと一緒に、ポロトの森を中心としたワークショップを毎週開催しています。植物を軸に活動したい、と考えている私にとって、ここは興味深いさまざまな植物の宝庫です。

その魅力を知ってもらうのがワークショップです。先月は「トドマツや桜から香りを抽出する蒸留会」や「白樺樹液化粧水作り」などを行いました。5月は「野草茶を楽しむ」などです。昨年度はコロナ禍もありこのようなワークショップを行うことはできなかったのですが、少しずつの実践を通して、自然の神秘や美しさを伝えることができた嬉し



## 地域おこし協力隊通信

野田和規さん(23)  
森林ガイド担当(2年目)

森の植物の魅力をワークショップで紹介

です。ワークショップには札幌や東京から参加してくれた方もいてくださり、自然に日常的に触れ合うことのできない方が自然を感じるきっかけにもなると思います。今後四季に合わせた白老の自然の魅力を伝えられるような自然イベントを開催していくので、皆さまの参加お待ちしております。



[https://nodateyasou.life/guide\\_thismonth-1/joryu\\_ezoyamazakura](https://nodateyasou.life/guide_thismonth-1/joryu_ezoyamazakura)  
(Instagram) : <https://www.instagram.com/p/Cde1sQ2veJl/>